

# 関常幸 議会報告

第45号  
2018. 5

発行責任者  
南魚沼市議会議員 関 常幸  
南魚沼市浦佐 2015 番地  
TEL 025-777-2245



## 県知事選挙

5月24日告示 6月10日投票

4月17日、新潟そして魚沼に激震が起きる。一面トップに「米山知事辞職を検討」の報道に。「エッ！」と声を発し、何がどうなっているのか、早朝にもかかわらず知事と親交の深いKさんに電話する……。

米山知事は50歳と若い。2期、3期は努める。現在は革新系だが根っこは自民党」で、2期目の選挙からはオール県民党で勝利し、自民党県議団と連携して県政に当たると確信していた。

米山知事は、国政選挙に初めて挑戦した年から、青年団が行う一週間の水行を行い3月3日の押合大祭に参加した。知事に就任した昨年、「毘沙門天に夢をかなえていただいたお礼に！」と大祭に参加し職員をあわてさせた。

地元（湯之谷村）出身の知事であり、このように県内各地域の行事に積極的に参加し市民とふれあい、現場の声を聞いていた。

魚沼基幹病院、北里学園と県立看護学校、豪雪対策とスキー観光、只見線の浦佐駅乗り入れ、浦佐17号バイパス、メデカルタウン構想、新ごみ処理施設、県道の拡幅、新幹線浦佐駅の利活用、国際大学とITパーク等々、米山知事と意見交換や要望を始めたばかりであった……。本当に残念！！

政治に空白はあってはならない。今回の選挙「柏崎・刈羽原子力発電」の再稼働問題も大きな争点だが、原発問題だけに目を奪われることなく、新潟県のトップにふさわしい人を選ばなければならない。

### ●県議会議員の補欠選挙（南魚沼市・湯沢町定員2人）

6月1日告示、投票日は6月10日

三年前、松原、斎藤、若月と激しい選挙を行い、若月氏がわずかの差で涙を呑む。

斎藤隆景県議死去（昨年3月31日）に伴い欠員が生じておったが、知事選挙が行われることにより、県議の補欠選挙も急ぎよ行われる。現在は塩沢から若月前県議の後継として名乗りを挙げている。斎藤県議の後継として手を挙げる人がいるかどうか注視している。

来年4月には県議会選挙が行われる。松原県議は2期目に向けて準備に入っている。

## 3月議会（2月26日～3月16日）

3月議会は予算議会とも言われており、就任2年目の林市政が色濃く出ているエネルギーな予算だ。「福祉の充実と将来への予算」と言える。

共産党は、毎年反対するのが「一般会計予算、介護保険・水道事業・後期高齢者医療特別会計」だ。「いつでも」「誰でも」「どこでも」入れる「国民皆保険制度」を持つ、日本の医療制度は世界一だ。限られた予算の中でその制度を堅持し、市民の生命と健康を守っているのに、反対することが分からない。

一般会計予算で、雪を利用しての事業1500万円を500万円にすべしと修正案が出される。趣旨には賛同するが計画があいまいだと言うのが理由。昨年12月議会で、雪保存に700万円に賛成しており、ここに来て計画があいまいだと言って修正案を出すのもおかしい。

市長との激論、議員間での激論を得て、299億2千万円の平成30年度一般会計予算は可決する。

### 市長所信表明



- ・公設民営の浦佐認定こども園、公市連携保育園への移行をすすめる。  
～運営形態が「市立から私立」へと変わる。
- ・ふれ愛支援センター内に生活介護を目的とした事業所が開設予定。
- ・浦佐地区にはサテライト型のグループホームの開設が予定。
- ・介護人材不足への緊急対応として、介護職員初任者研修料を全額補助する。
- ・看護師不足を解消するため市独自の給付型奨学金制度を31年度から開始したい。
- ・二日町グラウンド照明設備改修工事、モンスターパイプにナイター照明新設。
- ・学童保育業務を教育部局に移管
- ・財政健全化へ、同時に「稼ぎ出す」ふるさと納税2年目の取組
- ・「ハーフパイプ」国内種目別活動拠点に申請
- ・雪室プロジェクト、雪の市民会議（雪室サミット）全国大会開催

### ★社会厚生委員会（4月24日）

周辺集落15会場の説明会での内容と今後の進め方について集中審議する。

住民意見の主たるは、特産「八色スイカ」への風評被害（SNS）の不安が多く寄せられた。

他にも、公募の中から選ぶべき。ダイオキシン等の環境被害。交通量の増加に伴う渋滞や子どもの安全。学園都市構想で大学用地として提供したのだ。将来的な建替えも考えているのか。

戦後原野を耕し土地改良をし、コシヒカリと八色スイカを柱に産地を作り、多くの農業後継者が育ち県内でもトップクラスの産地だ。新ごみ処理施設設置に伴う不安や反対は普通であたりまえ。この不安や反対を解消するまで丁寧に急ぐことなく向き合い理解いただくことが大切。

今後周辺住民の皆さまへの施設見学会や専門家による講演会の開催。そして、8月末から2巡目の集落説明会。2巡目では、寄せられた意見への対応も含めた説明会とする考え。

### 新ごみ焼却処理建設予定地



## ★3月8日重文指定交付式に出席



宮田文化庁長官より指定証書を受ける（東京）



平成16年2月に「記録作成等の措置を講ずべき無形の民俗文化財に選択される。平成18年～20年に調査委員会が、併せて地元136名の実行委員会が組織され、平成21年3月に学術的な「調査報告書」が刊行。平成23年～25年に映像記録作成委員会が組織され、平成26年3月にDVD普及編と記録編が完成する。そして、今日の榮譽になる。

選択から14年、地域の大勢のみなさんのご協力ご支援で重文指定をいただいた。本指定の中心的指導者であった地元郷土史家滝沢先生と堂守り井口家当主年男井口健一郎氏も天国で喜んでいると思います。

宮田文化庁長官は「保存継続はもとより、本指定を契機に地域が活性化するように」と話される。

## 活動日誌



1.21 常幸後援会新年会



2.2 中国春節祭



2.4 自民党大和支部総会



2.20 オリンピック応援



2.23 石破茂代議士訪問



2.24 撒与講中餅づくり



3.4 前最高幹部もち撒き



3.5 大和中学卒業式



3.16 国際情報高校卒業式



3.23 浦佐小学校卒業式



3.25 浦佐婦人会総会



4.21 びしゃもん市オープン

## ★ 行政調査（2月6日～8日）

### ●倉敷市～観光振興について

瀬戸内海に面し人口48万人。工業都市、そして文化観光都市として発展してきた。岡山県の観光客入込数でも第1位が倉敷美観地区384万人。

ハード（瀬戸大橋開通、チボリ公園開園）に頼りすぎてはいけない（5、6年で300万人落ちる）に学ぶ。



白壁が美しい「美観地区」



### ●高松市～高齢者の居場所づくり

人口41万人。うどんの消費量は日本一。小麦粉の生産量も埼玉県の2倍で日本一。食でまち興し「本気井」に取り組んでいるが、南魚沼市コメの消費量日本一だろうか。

徒歩圏内（半径500m）に1か所を目安として300か所が目標、今日現在で243か所と言う。南魚沼市も高齢者を対象とした多くの事業を行っておるが、視察を通じ一回リセットし再構築が必要では…。

### ●小豆島町～特産(オリーブ)を活用した町づくり

人口27千人の島は2つの町からなり、オリーブトップワンプロジェクトは、生産者、加工・販売業者、試験研究機関、行政とまさに島あげての取組だ。魚沼コシヒカリ特AからAに落ちた今、小豆島に学ぶところが一杯だ。本当に今一度頑張らないと、特Aを取り戻せないと思った

## ★ 陸上自衛隊 高田駐屯地創設 68 周年記念事業（4月22日）

北朝鮮は一時の緊張から核放棄を目標とすると言ったが予断を許せない。尖閣諸島、竹島、北方領土と日本固有の領土が脅かされており、話し合いと同時に自衛隊を以てして対応しなくてはならない。



緊張が続く中、平和で安心して暮らせるのも、自衛隊の存在と隊員の皆さまの日頃の訓練のたまものだ。そして、自衛隊を明記した日本国憲法でありたい。

●「いんぱん」に議会報の原稿を届けようとしたのが4月17日。米山知事辞任の報は、議会報告の内容を一変させ、10日間余りパソコンに向かわれなかつた

●自民党大和支部設立50周年記念大会への問い合わせは、090 2154 9928 関常幸まで。入場整理券が必要。

●速度を守り交通安全でやさしい町を。

### 編集後記

## お知らせ



とき:7月7日  
会場:さわらび

## 自民党大和支部設立 50周年記念大会

- 一部 シンポジウム  
「ふるさと・魚沼の未来」  
泉田代議士、松原県議  
林市長、小林昌子、山本局長
- 二部 歌謡ショー  
葉月みなみ、TSUNE I
- 三部 記念講演  
「東アジア情勢と日本」  
石破 茂 氏  
(衆議院議員・元自民党幹事長)